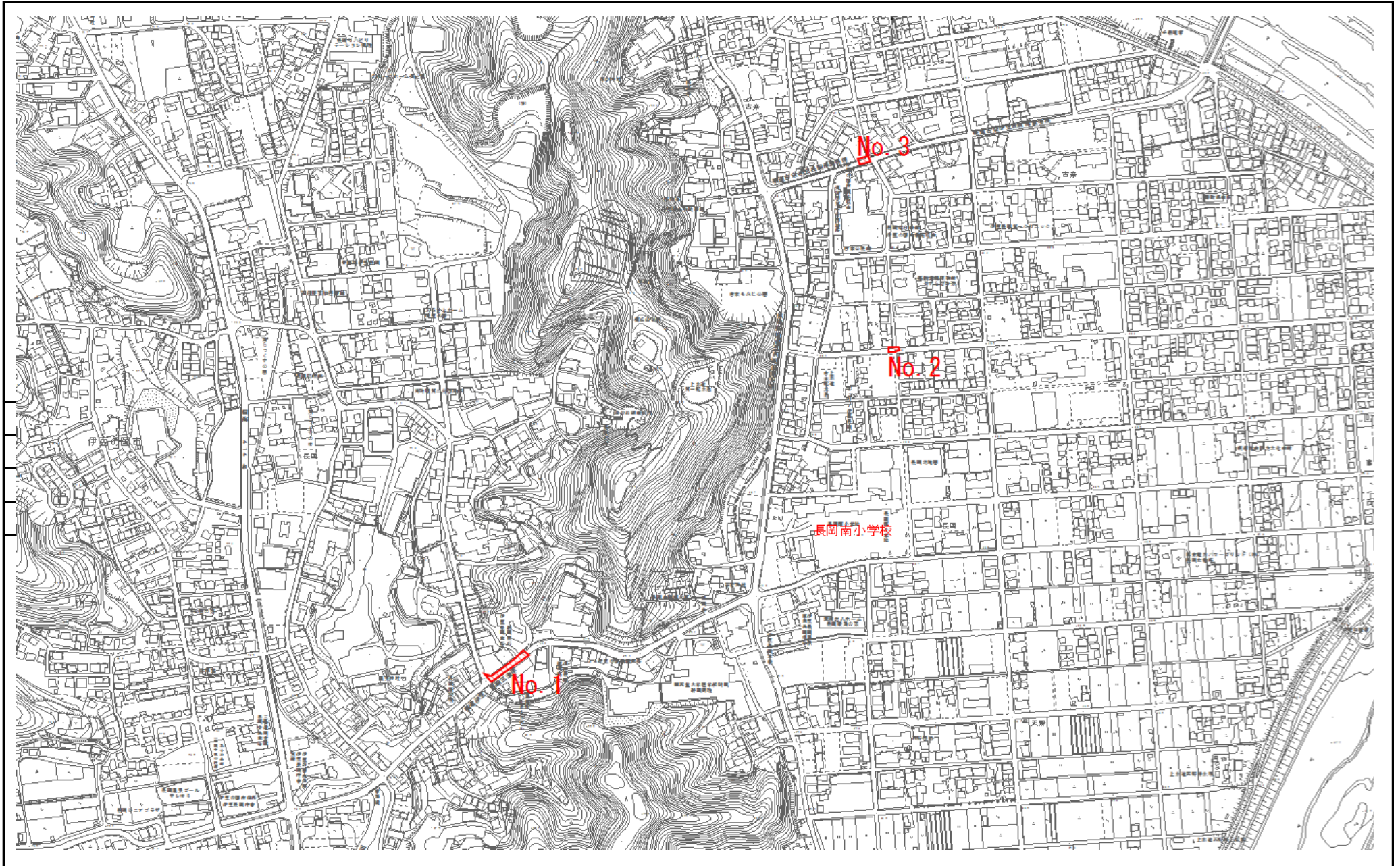


施設名	No.	位置	路線名	各施設からの抽出事由	合同点検点 検対象	対策主体	対策内容（点検結果）	対策完了 予定年度
【小学校】								
長岡南小学校	1	古奈	県道130号線	道幅が狭く、歩道も狭いため、歩行者にとって車までの距離が近いため、危険を感じている。可能であれば、歩道の拡大を希望する。歩行者を守ることができるよう、ガードレールやポールの設置、標識及び表示を希望する。	○	沼津土木事務所	当箇所では歩道拡幅の設計まで完了しているが、用地交渉に難航しており、歩道拡幅には相応の時間を要する。このため、暫定対策として損傷・劣化した水路蓋の交換やグリーンベルトを検討する。	暫定対策をR8 実施予定
	2	古奈	市道長5002号線	道幅が狭く、小学生にとっては高い垣根があり、カーブミラーもなく車の接近が分かりづらく危険である。車の運転手にとっても、見えにくい。横断歩道の設置（現在は東側のみ）、標識及び表示（「歩行者あり」）等の対策を希望する。	○	建設課	横断歩道の交差点側にラバーポールを設置することで通行車両への注意喚起と右左折時の巻込み防止を図る対策を講じる。	R7完了
	3	古奈	県道131号線 市道長5001号線	小道から県道131号に面する道路はT字路になっており、左右の確認が難しく、出会い頭の事故の危険性が高い。交差点までにはどうしても県道を歩かなければならないので、歩行者注意の看板設置、標識及び表示を希望する。	○	学校教育課 長岡南小学校	登校時に信号待ちで児童が滞留してしまう箇所となっている。ハード対策ができない箇所であるためソフト対策として通学路の変更等が考えられた。今後の課題として対策について検討が必要である。	検討
長岡北小学校	4	南江間	県道134号線	子ども達は、しょうれんじこども園前の横断歩道を渡って南側の歩道を歩く。しょうれんじこども園付近から、江間の交差点（豆塚神社前）を通り、ガソリンスタンドまで、子ども達が歩く南側の歩道にはポールがない。歩道があまり広くないが、車通りがあるため、子どもと車との距離が近い。危険防止として南側の歩道にポールがあるとよいと考える。（北側の歩道にはポールが設置されている。）	○	沼津土木事務所	ラバーポールの設置を検討する。	R8実施予定
韮山小学校	5	原木	県道129号線	道幅が狭く歩きにくい、車の往来がある箇所。歩行者と車を分ける線が薄くなったり、消えたりしている。線を描き足してほしい。	○	沼津土木事務所	外側線が薄くなっている箇所について、線の引き直しを行う。	R8実施予定
	6	四日町	県道133号線	バス停までは道路より1段上がった歩道があるが、そこから信号交差点までは縁石もなく歩道も狭い。車の往来は多いため、安全に歩行できるよう、グリーンラインを書き足すなど歩道が分かりやすくなるようにしてほしい。	○	沼津土木事務所	歩道整備を検討する。	R9以降予算要 望予定
韮山南小学校	7	中	市道韮2-3号線	市道韮2-3号線の韮山南小学校付近の歩道は整備されているものの、北東部には信号が変わるのを待つ間の歩行者が待機するスペースが、登下校する人数に対して十分に確保されておりません。 さらにセンターラインのない市道韮2-3号線との交差道路となる市道韮4 0 0号線は道幅が狭く左折車の内輪差などからか交差点に設置されている待機場所のポールは損傷してなくなるなど、交通安全上非常に危険な状態にあります。	○	建設課	信号待ちの退避スペースを新たに整備することが有効な手段となっている。 整備に当たっては用地取得が必要であるため、地権者からの御意見を伺う。	R8実施予定
	8	中	市道韮2-3号線	市道韮2-3号線は韮山南小学校付近の南進は車道幅が狭く時間帯で進入禁止になっているものの、通行する車両が多いため、小学生の登校時間における安全が脅かされている。 ※交通取り締まりも時々実施されているようだが、違反は一向に後を絶たないので、通行時に時間帯進入禁止の標識が認識しにくいのかもしれない。	○	①韮山南小 ②伊豆中央警察署	①標識の視認性を良好にするため周辺樹木の枝払いを行う。 ②追加の標識の設置を検討する。	R7完了
大仁小学校	9	三福	市道大101号線	主に下校時、横断歩道を渡ろうとする児童が、電信柱のために車の運転手の死角に入る。 生活道路であり、スピードを出してくる車も多いため危険を感じる。	○	建設課	横断歩道の設置個所を2 m程度ずらすことで歩行者が死角に入ることを防ぐ。 横断歩道の端にラバーポールの設置をし、待機スペースの整備及び車両への注意喚起を行う。	R7完了
	10	三福	市道大101号線	道幅が狭く、グリーンベルトの上を車が通行する。また、生活道路であり、朝は特にスピードを出して通行する車が多い。	○	建設課	一定間隔でラバーポールの設置をし、歩行者の安全を確保する。	R7完了

施設名	No.	位置	路線名	各施設からの抽出事由	合同点検点 検対象	対策主体	対策内容（点検結果）	対策完了 予定年度
大仁北小学校	13	守木	市道大3097号線	守木公民館から随應寺墓地の上方までは歩道が設置されている。 それより上方から通学する児童は、歩道の終了地点で、道路を横切る形で通行している。 坂道で、車両のスピードも出ている事からその横断箇所に、横断歩道の設置を望む。	○	伊豆中央警察署	横断歩道の設置について検討する。	R8以降
	14	守木	市道大3060号線	北門入口から北門に至る道路は、幅員が狭い上、路面に凸凹や亀裂があるなど、児童にとっては通行しにくい状態になっている。 また、通過する児童数も多い。 そこで、この部分の舗装し直した上で、「通学路」などの道路表示を希望する。	○	建設課	凹凸による水たまりで通行しにくい箇所がある。雨が降った際に現地確認を行い、部分補修を行う。	R7完了
	15	守木	市道大3060号線	ここを流れる谷戸沢川は降雨にはかなりの水嵩が増す。 ここを通過する児童は広範囲に亘る地区で、人数も多い。しかも、一般の市民の通過は少なく、児童の登下校の見守りの観点からは、 眼の届きにくい場所でもある。児童の心理からなのか、橋から川を覗き込む児童が居るとの指摘がされている。児童からは、ガード レールを高くして欲しいとの意見がある。合わせて、現状の最下部のパーの下方にもう一本のパーを設置するなどの総合的な対策の検討を望む。	○	建設課	ビームを最下部に取り付け、児童の落下防止をする。	R7完了
	16	守木	市道大3056号線	児童からは、現在設置されている道路標識ポールの付近にカーブミラーがあれば、安心だ、との意見有り。しかし、我々は、 市の基準では「カーブミラーの設置目的は、自動車同士の衝突防止」となっていることを承知している。そのことを踏まえると、 カーブミラーの設置より、道路標識ポールの位置から、学童クラブ側への横断歩道の設置を希望する。	○	-	点検の結果、危険性は低いと判断されたため対策等は不要となった。	=
	18	守木	市道大3254号線	この区間の西側は、令和5年度に本プログラムに提出して、道路の南側にグリーンベルトが設置された。その地点(東端の三 叉路)から南門に至る間にはグリーンベルトは無く、若干同幅員が狭くなっている。 更に、南門の所に横断歩道が設置される情報がある。児童は、この現在グリーンベルトが設置されていない部分で、自転車と 接触しそうになったことから、延長する形でグリーンベルトの設置を希望している。我々から見ても、既存のグリーンベルト と新設される予定の横断歩道の間にグリーンベルトが設置されることで、全体的な安全施策になると考える。	○	建設課 伊豆中央警察署	グリーンベルトの設置を行う。警察署による横断歩道の設置が計画されている箇所であるため 設置位置については調整を図る。	R7完了
【幼保施設】								
慈恩こども園	22	白山堂	市道大2014号線	朝、夕の送迎時に一般車両が抜け道として利用しているため交通量も多く、スピードを出している車両も多い。	○	建設課	外側線及びグリーンベルトの設置を行い、車両への注意喚起を図る。	R7完了

点検箇所図



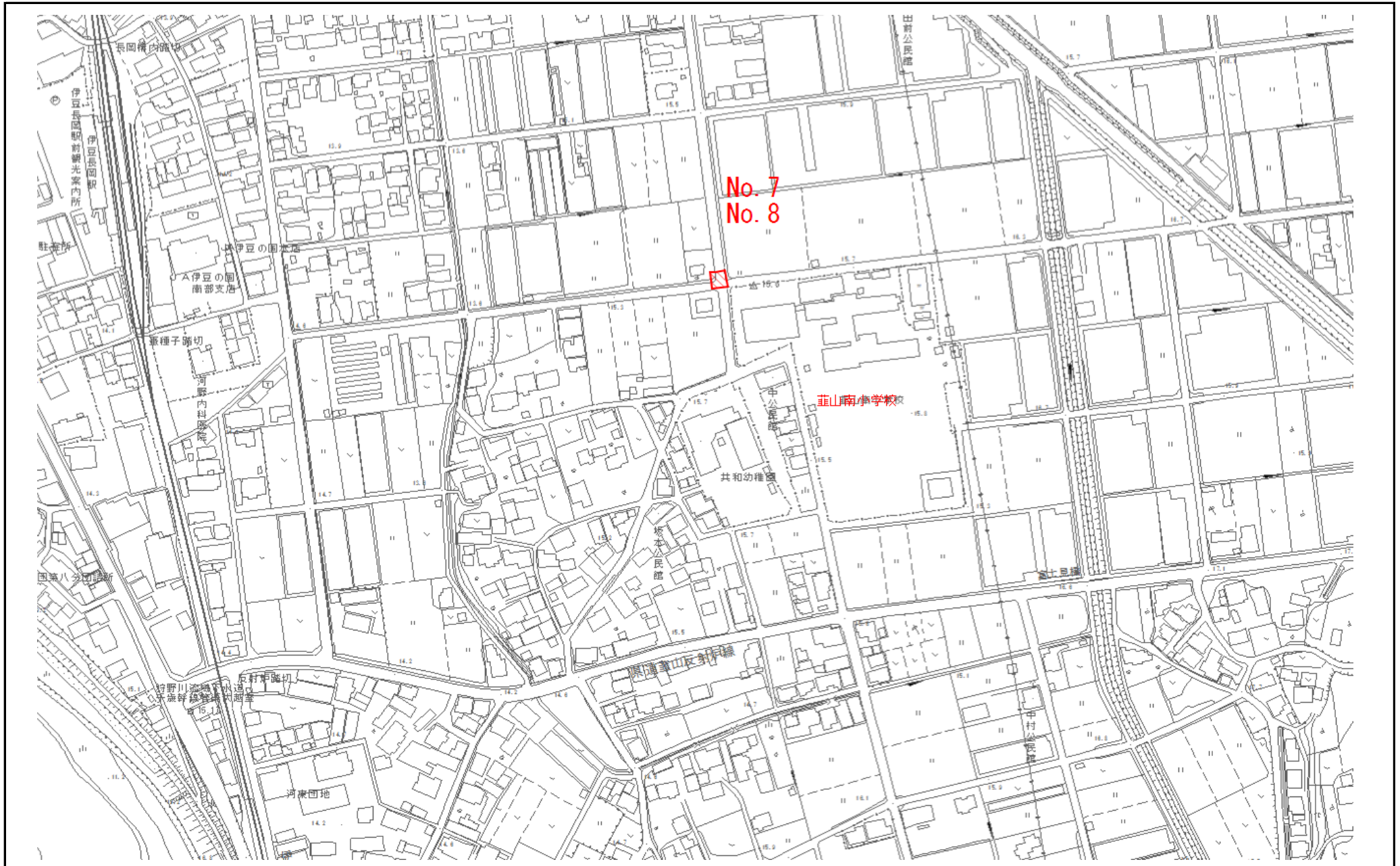
点検箇所図



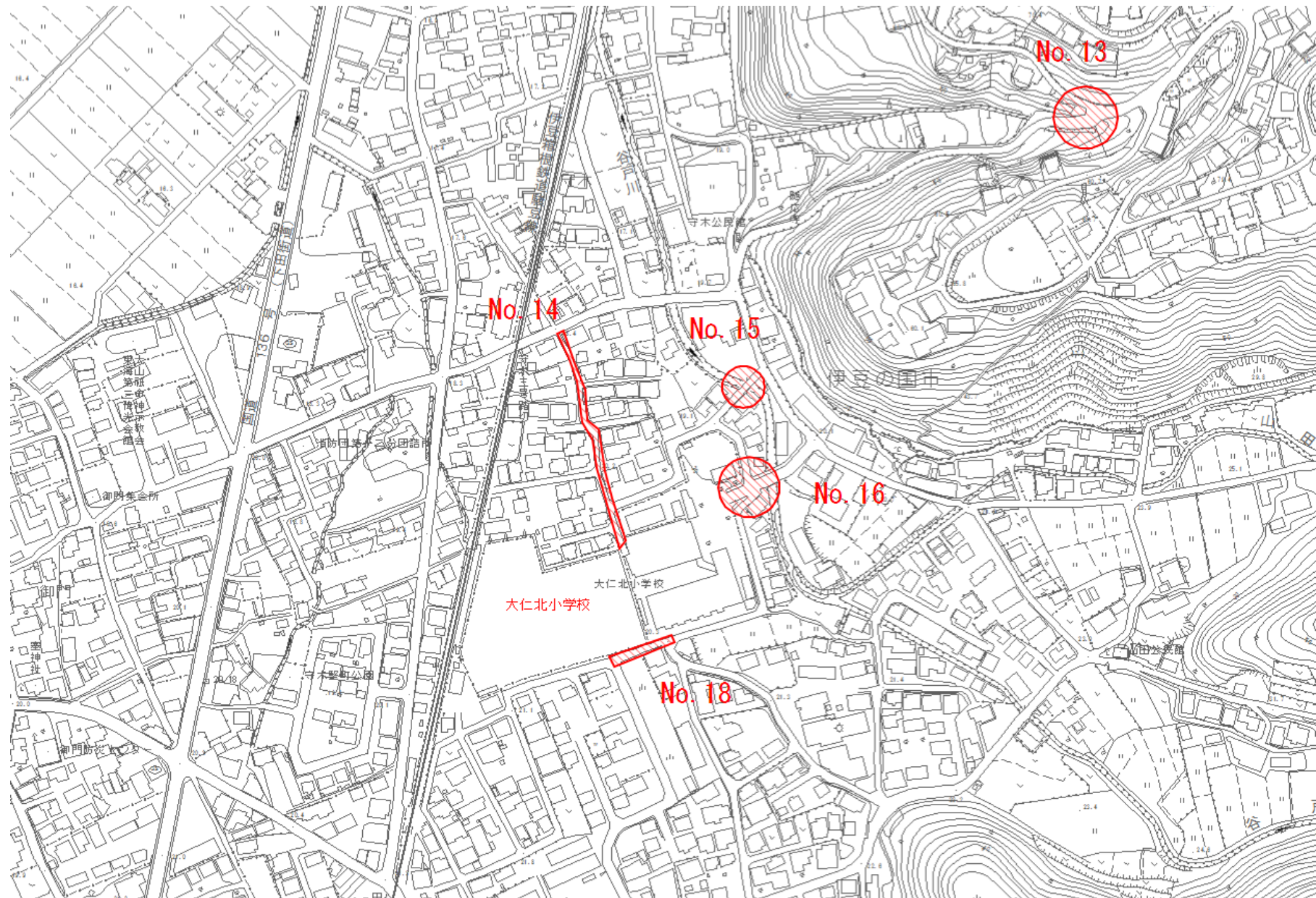
点検箇所図



点検箇所図



点検箇所図



点検箇所図



点検箇所図

